



## 3月もオープン中止

### 例外①「おたがいさま」は可能な範囲で行う 例外②ラジオ体操は変わらずに行う

#### 二月月例会で決定

政府は2月26日、新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言を2月28日大阪・兵庫・京都・愛知・岐阜・福岡の6府県について解除し、首都圏の東京・神奈川・埼玉・千葉4都県は3月7日までの継続を決定しました。川島町の陽性者は41人(2月27日現在)となっています。

2月16日月例会を開いて3月オープンについて検討しました。緊急事態宣言が解除されても、即大丈夫とはならないだろうとの意見が多く、3月もオープン

#### 埼玉未来大学講座より

#### II パティオを改めて知る②II

今回は昨年12月5日伊奈町にある県民活動総合センターで行われた地域創造科の選択講座「コミュニティカフェ開設講座」の報告をします。

今回も安藤事務局長と私(後藤)とが出向いてパティオの活動を説明してきました。この講座は前回のライフデザイン科を終えて、実践を目指す方に向けた内容となっているとのこと。他に説明した2団体は草加市へみんなの保健室・陽だまりと入間市へみんなのふじさわ未来ネットでした。

へ陽だまりは人口25万人の草加市で東武線4つの駅近くの喫茶店や市民活動センター等4カ所ほどに活動の場

は見合わせることにしました。

一方で、包丁が切れなくなったので包丁研ぎを再開してほしい、との声が事務局に届いている事を受けて、去年オープン中止時に包丁研ぎだけは庭で行った例にならない、3月は包丁研ぎを行うことを決めました。包丁研ぎは「おたがいさま」事業に含まれます。三密防止等の新型コロナウイルス対応が可能であるサービス項目・内容であれば実施することも決定しました。

#### ラジオ体操は行います



所を設け、それぞれの所で月数回テーマを変えてサロンや講演会・健康教室・野外活動等を行って

います。活動の拠点が必要ではないかとの意見が出ているとのこと。

へ未来ネットは入間市15万人の藤沢地区3.5万人の中で「地域の問題は地域で考え、地域で解決」をテーマで活動して地域力を高めることを目指したネットワークであるとのこと。市行政機関・社会福祉協議会・地域包括支援センター・自治会・地域企業・各種団体と携して各種事業を行っています。例えば子どもキッチン・イベント情報発信の会・カレー食堂等月1回、ストレッチ体操週2回、地域防犯活動(青パト)随時、多国籍交流会・歌留多会等です。地域のサロンを展開しているのは私

#### パティオラジオ体操カード

今年度、黄色のカードを配布して使用してもらっています。パティオの休止が続いているので、来年度もカードを黄色とします。パティオ再開時に今年度のカードも利用券として使用可能です。

#### 包丁研ぎの日時

3月9日(火)・23日(火) 13:00~15:00  
※※パティオの庭で行います※※

たちのパティオだけでした。他の団体は活動のホームが無く、活動のテーマ・内容により開催場所を転々としています。そして活動の対象範囲は、へ未来ネットが人口3.5万人の居住区であり、へ陽だまりは人口25万人の草加市全体です。  
川島町は人口が2万人であるため生涯学習課・健康福祉課・社会福祉協議会等が町全体に目を配り、ハッピー体操や生活支援体制整備協議体(第1層・第2層)等の活動を積極的

に支援・推進しています。そのため、民間で町全体を対象とする活動の必要性は低いのかも知れません。

そして、パティオは地域のサロンとして、ほぼ完成した活動を行っているのではないかと思います。